# とってもアットホームなミニコン (6/12)

## 地域にとけ込んでこそ、「地域で共に生きる」姿！

昨日、地域の学校に子どもを通わせているメル友のお母さん（「雑学」バックナンバー福祉・教育・医療関係（II）P．2003.10.23.「充実した毎日を過ごす親子に拍手」：参照）が企画・リードしたミニコンサートに顔を出しました。

6ケ月程前に、お母さん達が「自分たちでコーラスでも…」と言い出したところ、地域の方々は応援、支援の声を上げて下さり、今日の企画になったとか。地域の小学校体育館を借りての本式（？）のコンサート！メル友のご主人、また、ご主人の職場の仲間もたくさん、駐車場誘導を始め、色んな裏方仕事で汗を流されていました。
地域の方々もたくさん参加し、また聞きに来てくれたようで、200席用意のイスで間に合わず、途中イスの追加、運び入れの盛況。
とってもアットホームな素敵なコンサートでした（上の写真中央の白いTシャツが、そのお母さん達）。
あるご家族のピアノ演奏（左の写真）。障害のあるお子さんと、お兄ちゃん2人、そしてお母さんの計4人でのピアノ演奏コーナー。お兄ちゃんに手伝って貰い、一緒に曲に合わせてマラカスを振るお子さんの笑顔がとっても素敵でした（あまりの感動に、演奏終了後、「この写真をHPで使わせて欲しい」と母親に見せてお願いしたところ、快く承諾いただいた。）

お母さんたちやご家族の生き生きと楽しそうな様子、また、こうして地域の方々に支援をいただいている様子をミニコンを通して拝見し、メル友のお母さんの日頃の意識、姿勢が、仲間の方々、ご家族、地域の皆さんにご理解いただいていることが、よく解りました。ミニコンも素敵でしたが、そうしたお母さんがもっと素敵でした。

単に地域の社会福祉資源を利用することが「地域で共に生きる」ことではなく、こうして地域にとけ込んで、共に生活してこそ、その望むべき姿でないかと、つくづく思い知らされました。
高速で1時間ばかりの地方都市でしたので、まさかと思ったのでしょうね。予告なく顔を見せると、とっても喜んでくれました。

なお、昨日のことが今朝の毎日新聞宮城版に載りました。


- 「バックナンバー一覧」
- 「リンク」

MAIL HOME

# ミニコンサート：
# 楽しみは一緒に　障害児と健常児が参加－－石巻　／宮城

障害児・者が地域の健常児とともに音楽を楽しむミニコンサートが１１日、石巻市立門脇小で開かれた。日常生活でも医療行為が必要な重度の子どもたちも交じって、リズムにのって楽しんだ。

「県重症心身障害児（者）を守る会」の主催。地元の会員同士で余暇を楽しむため歌を習おうと話し始めたのがきっかけ。重複障害を抱えながら地元の普通学校に通う伊勢知那子ちゃん（８）の母、理加さん（３７）らが「地域で活動するなら健常児も交じって一緒に楽しもう」と提案し、音楽会へと企画が膨らんだ。

門脇小など市内の学校の児童や、石巻養護学校の児童・生徒、卒業生らも参加。地元のコーラスやハーモニカ演奏グループが耳になじんだ童謡やアニメソングを披露した。

伊勢さんは「同じ空間で同じ音を聴き、びっくりしたり楽しんだりすることで『一緒だね』と感じてほしかった」。

女川町に住む筋ジストロフィーの樋口綾さん（１９）は獅子舞の登場に驚き、涙を浮かべるほど怖がりながらも目はステージにくぎ付け。母の和枝さん（４４）は「家の前に小学校があるのに、娘は石巻の養護学校まで通い、同世代の友達がいない。これからの子どもたちはそんなことがないようにと参加した」と話していた。［小平百恵］

毎日新聞　2005年6月12日